

メンタルヘルス・マネジメント検定試験 実施概要

大阪商工会議所

1. 目的

産業界にとどまらず社会全体において、働く人たちの「心の健康管理（メンタルヘルス・マネジメント）」への関心が高まっています。成果主義の導入、人員削減による労働負担の増大など、労働者を取り巻く環境はストレスを増長させやすいものとなり、心の病による休職や離職、自殺の増加が深刻な社会問題となっているからです。心の病を予防するには、個々人が正しい知識を携えて自他のストレスに対処することがきわめて重要です。また、雇用する企業においても、社会的責任の履行、人的資源の活性化、労働生産性の維持・向上のためには、メンタルヘルス対策を適正に講じる必要があります。

大阪商工会議所はこうした状況を踏まえ、人事労務管理の観点から、企業・団体内の各階層の方々に必要なメンタルヘルス対策の知識・技術・態度を習得していただくためのツールとして、「メンタルヘルス・マネジメント検定試験」を企画・開発しました。同検定試験は、対象別に3つのコースから構成され、経営者・人事労務担当者には社内全体のメンタルヘルス対策を、管理職には部門内・部下のメンタルヘルス対策を、一般社員には自らのメンタルヘルス対策を推進することを目的としています。そして、心の病を未然に防ぎ健康を増進することに重点を置き、精神医学や臨床心理学、産業・組織心理学、組織論、労働法学など幅広い分野からカリキュラムを構築していることが特徴です。

ポイント:第三次予防から第一次予防へ
セルフケアからラインケア、組織全体のケアへ

目的 対象	第三次予防 (治療と職場復帰、再発防止)	第二次予防 (早期発見と対処)	第一次予防 (未然防止および健康増進)
労働者個人 (セルフケア)	医療的支援		
管理監督者 (ラインケア)			
企業組織 (計画づくり)			人事諸施策の再検討 組織開発

白色部分は従来対応領域、網かけ部分は本検定試験の対応領域

2. 実施体制

主催：大阪商工会議所 後援：日本商工会議所

3. コース別概要

メンタルヘルス・マネジメント検定試験は、対象別に3つのコースを設定します。コースごとの概要は次の通りです。

コース	種(マスターコース)	種(ラインケアコース)	種(セルフケアコース)
対象	人事労務担当・管理者、経営幹部	管理職・管理監督者	一般社員および新入社員
目的	社内のメンタルヘルス対策の推進	部門内、上司としての部下のメンタルヘルス対策の推進	組織における従業員自らのメンタルヘルス対策の推進
到達目標	自社の人事戦略・方針を踏まえたうえで、メンタルヘルスケア計画、産業保健スタッフや他の専門機関との連携、社員への教育・研修等に関する企画・立案・実施ができる。	部下が不調に陥らないよう普段から配慮するとともに、部下に不調が見受けられた場合には安全配慮義務に則った対応を行うことができる。	自らのストレスの状況・状態を把握することにより、不調に早期に気づき、自らケアを行い、必要であれば助けを求めることができる。
試験内容	企業経営におけるメンタルヘルス対策の意義と重要性 メンタルヘルスケアの活動領域と人事労務部門の役割 ストレスおよびメンタルヘルスに関する基礎知識 人事労務管理スタッフに求められる能力 メンタルヘルスケアに関する方針と計画 産業保健スタッフ等の活用による心の健康管理の推進 相談体制の確立 教育・研修 職場環境等の改善	メンタルヘルスケアの意義と管理監督者の役割 ストレスおよびメンタルヘルスに関する基礎知識 職場環境等の評価および改善の方法 個々の労働者への配慮 労働者からの相談の方法(話の聴き方、情報提供および助言の方法等) 社内外資源との連携と労働者のプライバシーへの配慮 心の健康問題で休業した労働者の職場復帰支援	メンタルヘルスケアの意義 ストレスおよびメンタルヘルスに関する基礎知識 セルフケアの重要性 ストレスへの気づき方 ストレスへの対処、軽減の方法

種(マスターコース)については有効期限を設定し、更新制度を導入します。

各コースの内容は、厚生労働省策定の「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を参考に構築します。

4. 施行形式

メンタルヘルス・マネジメント検定試験は、「公開試験」と「団体特別試験」の2形式で実施します。

	公開試験	団体特別試験
実施形式	統一日に指定会場で実施。 札幌・東京・名古屋・大阪・福岡で 実施予定。	企業が設定する日時場所で実施。
実施コース	種(マスターコース) 種(ラインケアコース) 種(セルフケアコース)	種(ラインケアコース) 種(セルフケアコース) 種(マスターコース)は実施せず。
受験資格	学歴・年齢・性別・国籍に制限なし。	学歴・年齢・性別・国籍に制限なし。 但し、申し込みは10人以上と します。
受験料 < 予定 >	種(マスターコース) 10,500 円 種(ラインケアコース) 6,300 円 種(セルフケアコース) 4,200 円	種(ラインケアコース) 5,040 円 種(セルフケアコース) 3,360 円
開始時期 < 予定 >	第1回:平成 18 年 10 月 第2回:平成 19 年 3 月	平成 18 年 6 月

受験料、試験日、試験地、受験申し込み期間などは、平成 18 年 5 月中～下旬に正式発表する予定です。

5. 公式テキスト

、種とも平成 18 年 5 月下旬に発行(中央経済社刊)する予定です。全国の手書店で販売する計画です。

< 予価(税込み) >

種(マスターコース)	4,410 円
種(ラインケアコース)	2,940 円
種(セルフケアコース)	1,890 円

6. 公開試験受験対策セミナー

公開試験前に受験希望者を対象に、ポイントを解説するセミナーを開催する予定です。開催のご案内は、6 月ごろからホームページなどで行います。

【本件担当】大阪商工会議所 人材開発部 検定担当

〒540-0029 大阪府中央区本町橋2番8号

電話 06(6944)6430 FAX06(6944)6330

電子メール kentei@osaka.cci.or.jp